

由良のとを渡る舟人

かぢを絶えゆくへも知らぬ

恋の道かな

中一二三

由良の海峡を渡る舟人が、楫をな  
くして行く先もわからずになり、  
波に漂っているように、どうなっ  
てゆくかわからない私の恋の道で  
あるよ。

曾禰 好忠（四十六番）